

アナザースカイ、英国

昨年8月、英国に3週間ほど短期留学とホームステイをしていました。早いもので約半年ほど経ってしまいましたが、非常に自分にとって貴重なこの体験を、ここに文字としてまとめてみたいと思います。

募集が始まったのは昨年の4月ごろ。ちょうど、国外渡航への障壁がかなり下がったタイミングでした。色々と忙殺されていた時期でしたが、将来的な海外でのキャリア形成のきっかけづくりになると感じ、親の了承を得て（ほぼ衝動的に）申し込み、無事選考を通過。自分にとって初めて降り立った海外の地ということで、英国には思い入れがありました（過去にその滞在の記録を奨学生レポートに記しています）。こんなにも早く、2度目の渡航が叶うとは思っておらず、とてもありがたいことだと感じています。

さて、滞在先はイングランド中北部の都市、シェフィールド（Sheffield）。かつて産業革命期に鉄鋼で栄え、今でもイギリスで5番目の人口を擁する街です。中心部にはトラム（路面電車）やショッピング街が集まり、郊外には閑静な住宅街が広がっており、都市と自然のバランスが取れている過ごしやすい街だと感じました。訪れたのが8月にもかかわらず、平均の最高気温は20°C台前半と、気候の面でも恵まれた地域でした。平日は、シェフィールド大学にてレッスン。午前には語学学校のような形で、英語力そのもののスキルアップのための授業を受け、午後に大学から講師を招いて、毎日違うトピックで講義を受けるという内容でした。午後の授業のトピックは、天文学や歯学・心理学、ジャーナリズムや日本の短歌（！）など、理系・文系問わずさまざまでした。

ホームステイ先は比較的高台にあり、庭から見る景色は素晴らしいものでした。ホストマザーが全般の面倒を見てくださり、ホストファザーは毎日美味しい手料理を作ってくれました（2年前のレポートでイギリス料理マズイ…と書きましたが、ここで訂正！あの時の運が悪かった）。渡航前のメールのやり取りで、ペットの犬を飼っていると伺っており、初めは仲良くなれるか非常に不安だったのですが、彼

の好きな靴下で遊んであげると次第に懐いてくれるように。靴下目当てとはいえ（笑）、家に戻るとすぐさま飛びついてくる様子を思い出すと、かわいかったな〜と懐かしくなります。

もちろん、修学目的で数週間異国の地に滞在するのは初だったので、困難はありました。ホストファミリーが非常に優しくかったのが幸いでしたが、やはり言いたいことが出てこない時、また話していてもどう反応したら良いかわからないときは、とてももどかしくなります。初めの頃は自信をなくし、食事が終わるとすぐに部屋にこもってしまうこともありました。今思えばもっと初めから積極的に交流しておくべきでしたが、帰宅後の散歩や、テレビを見るなど一緒に過ごす時間をとるようにしたことで、自分の中で話すことへの苦手意識がなくなっていました。

一週目の週末はロンドンに出かけました。ちょうど英国に熱波が到来し、さらに旅程に国鉄のストライキが重なるという、ハプニング続きの二泊三日でした。大英博物館やウェストミンスター寺院など、主要な観光スポットは大方めぐることができました。宿泊先の近くにあったプリムローズ・ヒル（Primrose Hill）にて、ロンドン市内を一望しながら友人とピクニックしたのが印象に残っています。

二週目の土曜日は、シェフィールドからほど近い国立公園である Peak District 内にある街、ベイクウェル（Bakewell）とチャッツワース（Chatsworth）へ行きました。ベイクウェルは小さく、とても可愛らしい街で、プディングが名物です。チャッツワースは隣町なのですが、乗車したバスが予定通りチャッツワースに向かわないというハプニングが発生。友人たちと迷子になりながら 2 時間近く歩いて向かったのは今となっては良い思い出です。日曜日は電車で 40 分ほど移動し、ヨーク（York）を訪問。自他のホストファミリーが口を揃えておすすめしてくれた街です。市内は中世の城壁に囲まれ、ヨーク・ミンスターやクリフォード・タワーなどの歴史的遺構が残るほか、ハリー・ポッターのダイアゴン横丁のモデルになったとも言われるシャンブルズ（Shambles）といった観光スポットが中心に集まっています。一緒にいった友人と後になっても「一番感動した」と自信を持って振り返られるくらい良い街でした。日本での知名度向上を目指したい（…！）

3 週間という非常に短い期間ながら、学年・バックグラウンドも多様な友人と共に過ごし、とても密度の濃い体験をすることができました。今回の旅行でカメラを常に持ち歩き、何枚も写真を撮ったことでようやく、カメラが自分の趣味だと自信

を持って言えるようになった気がします。また、今回の経験を通じて、海外で働くという選択肢をより強く意識するようになりました。貴重な経験を得られたことに感謝しつつ、語学スキルの向上など、今自分にできる努力をこつこつ積み重ねていきたいと思います。

これまで何度か奨学生レポートを書かせていただきました。今回でおそらく最後になると思います。ここまでお読みいただき、ありがとうございました。